

外科

《概要》

外科の診療内容としては、上部・下部消化管、肝胆膵など消化器外科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、小児外科領域の専門医療を主に担当している。2011年4月に中川敬也医師が当院心臓血管外科より後期研修医とし外科へ、三宅啓介医師が大阪大学外科学講座心臓血管外科より赴任した。また同時期に小北晃弘医師が市立貝塚病院へ、後藤隆純医師が当院心臓血管外科へ転任した。2011年4月現在、以下11名の医師で手術を遂行している。年間全身麻酔手術件数は、718件であり増加傾向にある。地域の先生方からのご紹介による急性腹症を中心に緊急手術にも積極的に対応している。悪性疾患に対する化学療法や分子標的治療に関しても年間約2千件を超える件数を行っており、増加傾向にある。また、2011年の延べ入院患者数は約2万人であり、延べ外来患者数は約2万3千人である。

当科では外科医だけでなく、病理医、薬剤師、看護師、検査技師と地域連携室、がん相談支援センター等と連携したチーム医療を実践しており、各症例においてエビデンスにもとづく治療を中心に検討し治療方針を決定している。さらに、チーム医療に関して放射線診断医をはじめ他領域の専門医も参加するカンサーボードを積極的に行い、治療方針を決めている。新たな診断、治療に関しては全国レベル、国際レベルの臨床試験や治験に積極的に参加しており、エビデンス構築の一役を担っている。消化器外科手術に関しては、腹腔鏡手術を積極的に取り入れ、侵襲の少ない根治的手術を行っている。関西だけでなく全国の大学医学部からの見学も多数あり、バラエティ豊富な手術症例を学んでいただいている。

外来診察に関しては、通常の外来診療以外に月曜日・火曜日の午後に乳腺外来を、また火曜日にはストーマ外来を行っている。

尚、2011年11月には、位藤俊一医師を会長に当科だけでなく院内他科の先生方や職員の皆様ならびに泉南医師会の先生方のご協力を賜り、日本超音波医学会第38回関西地方会学術集会を大阪国際会議場にて開催いたしました。お陰さまで約1,000名の先生方にご参加頂きました。関係の皆様にご心より感謝いたします。

伊豆蔵正明	(昭和52年卒)	病院長
位藤俊一	(昭和59年卒)	がん治療センター長兼外科主任部長
水野均	(昭和60年卒)	消化器センター長兼外科部長
飯干泰彦	(昭和62年卒)	外科部長
山村憲幸	(平成6年卒)	外科部長
藤井仁	(平成10年卒)	外科医長
人羅俊貴	(平成13年卒)	外科医長
藤井亮知	(平成14年卒)	外科副医長
大橋朋史	(平成19年卒)	外科非常勤医員
中川敬也	(平成20年卒)	外科非常勤医員
三宅啓介	(平成21年卒)	外科非常勤医員

《手術実績》 (2011. 1. 1～2011. 12. 31)

1. 頭頸部		7. 胆道	
(1) 甲状腺癌	14	(1) 胆石・胆嚢炎	72
(2) その他	6	(2) 総胆管結石	4
小計	20	(3) 胆嚢癌	2
2. 乳腺・胸壁		(4) 胆管癌	3
(1) 乳腺良性腫瘍	7	(5) 胆管炎	1
(2) 乳癌	103	(6) 胆嚢腺筋症	2
小計	110	(7) 胆嚢ポリープ	2
3. 食道		内 腹腔鏡下手術	63
(1) 悪性腫瘍	7	小計	86
(2) その他	2	8. 膵	
小計	9	(1) 良性疾患	1
4. 胃・十二指腸		(2) 膵癌	5
(1) 胃穿孔	2	小計	6
(2) 十二指腸潰瘍	2	9. イレウス	
(3) 胃癌	55	(1) イレウス	15
(4) その他	2	小計	15
内 腹腔鏡下手術	6	10. 門脈圧亢進症	
小計	61	(1) その他	1
5. 大腸・小腸		小計	1
(1) 結腸癌	73	11. ヘルニア	
(2) 直腸肛門癌	34	(1) 鼠径ヘルニア	165
(3) 小腸 GIST	2	(2) 大腿ヘルニア	6
(4) 大腸ポリープ	5	(3) その他	1
(5) 特発性大腸穿孔	4	内 腹腔鏡下手術	35
(6) 肛門ポリープ	2	小計	172
(7) 痔核	1	12. 腹壁・末梢血管・後腹膜・外傷・ 他科手術・その他	
(8) 虫垂炎	49	(1) 腹壁癒痕ヘルニア	6
(9) その他	29	(2) 臍ヘルニア	5
内 腹腔鏡下手術	64	(3) 他科	20
小計	199	(4) その他	46
6. 肝		小計	77
(1) 肝細胞癌	10	総計	778
(2) 転移性肝癌	10		
(3) その他	2		
小計	22		

《化学療法実績》 (2011. 1. 1～2011. 12. 31)

分類	外来	入院
胃	213	70
食道	2	27
大腸	606	189
胆道	47	8
乳腺	751	152
膵臓	83	24
クローン	7	
総計	1,709	470

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2011.4~2012.3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Phase II clinical study of DD-723 (perflubutane): dose-response study in patients with breast tumors	Y Miyamoto, T Ito, E Takada, K Omoto, T Hirai, R Sekiguchi, T Okuno, S Kanazawa, N Nakata, T Igarashi	J Med Ultrasonics	39(2)	79-86	2012
2	Phase I study of S-1 in combination with trastuzumab for HER2-positive metastatic breast cancer.	Nakayama T, Morita S, Takashima T, Kamigaki S, Yoshidome K, Ito T, Taguchi T, Sakamoto J, Noguchi S,	Anticancer Res	31(9)	3035-3040	2011
3	Cationized gelatin-HVJ envelope with sodium borocaptate improved the BNCT efficacy for liver tumors in vivo	Fujii H, Matsuyama A, Komoda H, Sasai M, Suzuki M, Asano T, Doki Y, Kirihata M, Ono K, Tabata Y, Kaneda Y, Sawa Y, Lee CM	Radiat Oncol	6(8)		2011
4	【最新 超音波診断データブック】 乳腺腫瘍に対するインターベンション	位藤俊一	臨床画像	27(4)	121-128	2011
5	【最新乳癌手術】 乳癌に対するラジオ波焼灼療法	位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 伊豆蔵正明	手術	65(5)	569-573	2011
6	【US Today 2011 先進技術で極める超音波の未来】 インターベンションを極める 乳腺 FNAC、CNB、VAB の特徴と手技を中心に	位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 今北正美 伊豆蔵正明	インナービジョン	26(12)	56-58	2011
7	転移性肝腫瘍との識別が困難であったトキシカラ症の1例	藤井 仁 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 中川敬也 三宅啓介 今北正美 伊豆蔵正明	日本外科感染症学会雑誌	8(6)	747-752	2011

(2) 学会研究会報告 (2011.4~2012.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	硬さの情報を臨床に活かす～表在から深部まで～「乳腺」	位藤俊一	日本超音波医学会学術集会(84)	2011.5.27-29
2	インターベンション研究班企画 ケースカンファレンス - 次の一手は -	位藤俊一 五味直哉 小野 稔 矢形 寛 大西 清 亀井桂太郎 坂本尚美 田口哲也 中山崇寛 橋本秀行 福岡秀祐 藤田崇史 松永忠東 水谷三浩 渡邊良二	JABTS26	2011.7.30-31
3	ラジオ波焼灼療法における全国データ後ろ向き研究解析結果	位藤俊一	日本乳癌学会学術集会総会(19)	2011.9.2-4
4	甲状舌管嚢胞に合併した甲状腺乳頭癌の小児例	飯干泰彦 小北晃弘 後藤隆純 大橋朋史 人羅俊貴 藤井亮知 藤井 仁 山村憲幸 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明 今北正美	日本小児外科学会学術集会(48)	2011.7.20-22

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
4		甲状腺舌管嚢胞に合併した甲状腺乳頭癌の小児例	飯干泰彦 小北晃弘 後藤隆純 大橋朋史 人羅俊貴 藤井亮知 藤井 仁 山村憲幸 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明 今北正美	日本小児外科学会学術集会(48)	2011.7.20-22
5		HER2陽性、骨転移乳癌11症例の検討	飯干泰彦 位藤俊一 水野 均 山村憲幸 藤井 仁 藤井亮知 人羅俊貴 大橋朋史 小北晃弘 後藤隆純 伊豆蔵正明	日本乳癌学会学術総会(19)	2011.9.2-4
6		膿瘍の有無と梨状窩瘻手術	飯干泰彦 伊豆蔵正明 位藤俊一 水野 均 山村憲幸 藤井 仁 藤井亮知 人羅俊貴 大橋朋史 小北晃弘 後藤隆純 長島雅子	日本外科学会定期学術集会(111)	2011.5.25-28
7		トラスツマブ+カペシダピン+シスプラチン療法が著効を示している HER2 陽性進行胃癌の一例	山村憲幸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 三宅啓介 伊豆蔵正明	日本胃癌学会総会(84)	2012.2.8-10
8		イマチニブの術前投与にて縮小効果を認め切除術を施行した十二指腸巨大GISTの1例	藤井 仁 山村憲幸 後藤隆純 小北晃弘 大橋朋史 藤井亮知 人羅俊貴 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 今北正美 伊豆蔵正明	日本消化器病学会(97)	2011.5.13-15
9		イマチニブの術前投与が奏功し安全に切除術を施行し得た十二指腸巨大 GIST の1例	藤井 仁 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史	GIST 研究会(17)	2011.9.17
10		虫垂粘膜嚢腫 7 例の検討	藤井 仁 山村憲幸 三宅啓介 中川敬也 大橋朋史 藤井亮知 人羅俊貴 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 今北正美 伊豆蔵正明	日本臨床外科学会総会(73)	2011.11.17-19
11		膵腫瘍性病変に対する Sonazoid を用いた術中造影超音波検査の経験	藤井 仁 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史	日本超音波医学会関西地方会学術集会(38)	2011.11.12
12		左側胆嚢に対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の一例	人羅俊貴 水野 均 後藤隆純 大橋朋史 小北晃弘 藤井亮知 藤井 仁 山村憲幸 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本消化器外科学会(66)	2011.7.13-15
13		Virtual Touch Tissue Quantification を用いた乳腺腫瘍の質的診断の試み	人羅俊貴	日本超音波医学会関西地方会学術集会(38)	2011.11.12
14		巨大脾血管腫の1切除例	藤井亮知 水野 均 後藤隆純 小北晃弘 大橋朋史 人羅俊貴 藤井 仁 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明 今北正美	日本消化器病学会総会(97)	2011.5.13-15
15		当院におけるアブラキサン投与経験	藤井亮知 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 大橋朋史 今北正美 伊豆蔵正明	大阪大学乳腺疾患懇話会(8)	2011.10.1

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
16		術中造影超音波を用いた XELOX+Bevacizumab 療法後の大腸癌肝 転移切除の 2 例	藤井亮知 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 大橋朋史 今北正美 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学 術集会 (38)	2011.11.12
17		経口アンビルによる縦隔内吻合後、縫合不 全に対してフィプロガミン投与が有効であ った胃癌の 1 例	大橋朋史 山村憲幸 後藤隆純 小北晃弘 藤井亮知 人羅俊貴 藤井 仁 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会 (97)	2011.5.13-15
18		経口アンビルによる縦隔内吻合後、縫合不 全に対してフィプロガミン投与が有効であ った胃癌の 1 例	大橋朋史 山村憲幸 後藤隆純 小北晃弘 藤井亮知 人羅俊貴 藤井 仁 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明	りんくう消化器病研究会 (19)	2011.6.18
19		回腸脂肪腫による腸重積に対して単孔式 腹腔鏡手術を施行した一例	大橋朋史 水野 均 三宅啓介 中川敬也 藤井亮知 人羅俊貴 藤井 仁 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	近畿内視鏡外科研究会 (24)	2011.10.15
20		小児回盲部腸間膜リンパ節炎 7 症例の検 討	大橋朋史 飯干泰彦 水野 均 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 中川敬也 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学 術集会 (38)	2011.11.12
21		腹腔鏡による観察後にポート部より摘出し た卵巣嚢胞性奇形腫の 1 例	中川敬也 飯干泰彦 水野 均 三宅啓介 大橋朋史 人羅俊貴 藤井亮知 藤井 仁 山村憲幸 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本小児外科学会近畿地方会 (47)	2011.8.27
22		乳房 Paget 病の 1 例	中川敬也 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 三宅啓介 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳癌学会 近畿地方会 (9)	2011.12.3
23		左側胆嚢に対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘 出術の一例	中川敬也 人羅俊貴 水野 均 三宅啓介 大橋朋史 藤井亮知 藤井 仁 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	南大阪消化器外科臨床懇談会 (49)	2011.9.10
24		イマチニブの術前投与にて縮小効果を認 め切除術を施行した十二指腸巨大 GIST の 1 例	中川敬也 山村憲幸 後藤隆純 小北晃弘 大橋朋史 藤井亮知 人羅俊貴 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 今北正美 伊豆蔵正明	りんくう消化器病研究会 (19)	2011.6.18
25		胃癌術後の TS-1 療法中に急性胃粘膜病 変を合併した一例	後藤隆純 山村憲幸 小北晃弘 大橋朋史 藤井亮知 人羅俊貴 藤井 仁 飯干泰彦 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本消化器病学会総会 (97)	2011.5.13-15

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
26	乳腺腫瘍における Virtual Touch Tissue Quantification の使用経験とその有用性	後藤隆純 位藤俊一 齊藤雅博 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 伊豆蔵正明	日本超音波医学会学術集会(84)	2011.5.27-29
27	造影超音波検査が切除範囲決定に有用であった乳癌の一切除例	三宅啓介 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 中川敬也 今北正美 伊豆蔵正明	日本乳癌学会 近畿地方会(9)	2011.12.3
28	良性の乳腺腫瘍としての長期フォローアップ中に悪性所見が出現し手術に至った 1 症例	三宅啓介 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(38)	2011.11.12
29	再発乳癌に対するトラスツズマブ+ゾレドロン酸による連携治療有効例	三宅啓介	りんくう乳腺・内分泌研究会(10)	2011.6.11
30	乳癌に対するラジオ波焼灼術後の超音波像の検討	中村雅美 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(38)	2011.11.12
31	尿管遺残症における超音波像の検討	川本英子 飯干泰彦 位藤俊一 水野 均 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 大橋朋史 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(38)	2011.11.12
32	当院で経験した虫垂粘液嚢腫の 3 例	沼田寿子 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 人羅俊貴 藤井亮知 今北正美 伊豆蔵正明	日本超音波医学会関西地方会学術集会(38)	2011.11.12

(3) 学術講演 (2011.4~2012.3)

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	リンパ節の診断	位藤俊一	日本超音波医学会超音波診断講習会(乳腺・甲状腺)	2011.11.20
2	乳房超音波診断とインターベンション	位藤俊一	日本超音波医学会中部地方会(31)	2011.7.10
3	肝胆膵における外科的治療と外科医が術前に知りたい US 所見	位藤俊一	医用超音波講義講習会(111)	2011.12.18
4	肝切除後急性期の血漿アルギニンの枯渇	飯干泰彦	泉州地区 NST 研究会(13)	2011.10.29
5	消化器癌に対する最近の治療戦略	藤井 仁	りんくうカンファレンス(165)	2011.5.19